

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(10/14)

| | 評価区分(※) | 評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値) | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|--|---------|---------------------|---|---|------|---|
| | | | 目標に向けた取組の進捗に関する評価 | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | 総合評価 | |
| 東九州メディカルバレー構想特区(血液・血管医療を中心とした医療産業拠点づくり特区) (大分県、宮崎県) | 正 | 3.5 | 3.8 進捗度 医療機器生産金額の増加 70% 新規医療機器製造登録業者数 233% | 3.4 規制の特例等非治験臨床性能評価制度適用範囲の拡大 財政支援等医工連携事業化推進事業 地域独自の取組 大分県医療関連産業参入促進事業 宮崎県医療機器研究開発開発支援事業等 | 3.2 | <ul style="list-style-type: none"> ・新規医療機器製造登録業者数の増加は評価できるが、これらのうち特区の目的である血液・血管分野を中心とした医療機器産業に関連するもの割合についても評価指標を立てて示すべきである。 ・特区における活動が研究開発から製品化、上市に至るまでどのように地域企業に影響を与えたのか、客観的指標に基づく評価により、具体的に支援の効果を可視化する必要がある。 ・新規参入企業数が増加しているにも関わらず、医療機器生産額の増加額が頭打ちになっている現状について、何が原因なのかをより詳細に検討する必要がある。また目標値と実績値の乖離の拡大については、十分な原因究明の上、積極的介入をすべきである。 |

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)